

# せんがく便り

「健康野菜の常識」という記事を、先日インターネットで目にするがありました。「虫がつかない、形が揃っている、収穫量が増える(品質が上がる)」、これがその常識なのだそうです。安心して食べられる野菜を選ぶためには、まずは私たち自身が「本物の知識」を身に付ける必要がありますね。安全な食文化を守る努力がどれほどのものか、考えさせられる記事でした。

## 10月の予定

2日(月) 後期開始日 国内研修開始～1/31	21日(土) 学生登校日
3日(火) 海外研修2班出発 ～1/22	第6回オープンキャンパス
7日(土) 学生登校日	20日(金) 第2回A0入試願書受付 ～10/26
9日(月) (祝)体育の日	23日(月) 2班稲刈り実習(国内研修休止) ～/31
11日(水) 1班稲刈り実習(国内研修休止) ～/20	29日(日) 第2回A0入試
17日(火) 第2回A0入試エントリー締め切り	31日(火) 第3回A0入試エントリー開始



### ◆和地地区環境保全活動(9/13)

今月もオイスカ高校2・3年生のワールドキャリアコースの生徒達と共に、和地地区環境保全活動として地域奉仕を行いました。高校生はアジサイの剪定、本校の専門学生は梅の木の草刈りを中心に、よい汗を流しました。



### ◆海外研修プチ報告

8月1日より海外研修に臨んでいる国際協力科2年生・金澤さんと1年生湯本さん。フィリピン・ネグロス島にあるオイスカ・バゴ研修センターを拠点として来年1月末まで研修を継続中です。海外で展開される国際協力の現場を肌を通して感じ取ったり、現地の高校へ通い英語の語学研修などを中心に日々頑張っています。現地からの写真を紹介します。

バゴ・コンサートに現地の高校生と一緒に音楽発表(日本人初参加)〈左写真〉



英語の授業中の1コマ  
(ドラオ高校)



## ◆農業専修コース・国内研修始まる



国際協力実践コースと農業専修コースの2コースを設置する本校ですが、毎年2年次に展開をしている海外・国内研修を、本年度入学生に対しては1年次より実施をします。前述した金澤さん・湯本さんの後を追いかけるように、来月3日には2年生・黒田君が同研修センターで4ヶ月の海外研修に臨みます。農業専修コースの2・1年生はそれぞれ希望する最先端技術を誇る研修場所へ出向いて、国内研修を実施します。学生達の抱負をまとめましたので、お読み下さい。

- 関 賢治君(2年生・浜松市出身) 研修場所:浜松フラワーパーク  
過去にも本校の先輩が研修に臨んだことがあるフラワーパークで、寄せ植えの手法やレイアウトなどの技術を学びたいと思っています。珍しい花の手入れも楽しみです。
- 寺島 響君(2年生・浜松市出身) 研修場所:(株)ベジュー(Veggy)  
内定を頂いた会社での研修なので、メリハリをつけて研修に臨み技術を吸収しようと思っています。
- リエム君(2年生・ベトナム出身) 研修場所:袴田ファーム  
今はネギとホウレンソウの露地栽培・出荷に大忙しです。作業に無駄がないよう頑張ってきます。
- 縣 一樹君(2年生・菊川市出身) 研修場所:コシオトロピカルアイランド  
仕事を効率良く進める手順や技術、観葉植物の生態など学びたいと思います。
- 市川 竜太郎君(1年生・埼玉県出身) 研修場所:(株)ベジュー(Veggy)  
ハウス栽培と露地栽培の大規模農場(農業生産法人)における経営方法などを学びたいと思います。

## スナップ写真紹介

夏季休業中のインターンシップに臨んだ学生のスナップ写真をご紹介します。



←(有)佐野農園(浜松市西区)  
1年生・市川君  
サラダ菜の出荷作業を行う



(株)京丸園(浜松市南区)→  
2年生・関君  
水耕栽培のノウハウを学ぶ



←山中農園(浜松市西区)  
2年生 縣君  
花の手入れや収穫を体験



夏目牧場(株)(浜松市北区)→  
2年生 リエム君(右から2番目)  
本校の先輩も働いてる牧場で研修